



2021年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年11月11日

上場会社名 株式会社アクシス 上場取引所 東
 コード番号 4012 URL <https://www.axis-net.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 小倉 博文
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 小菅 直哉 (TEL) 03-5501-1277
 四半期報告書提出予定日 2021年11月11日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年12月期第3四半期の連結業績(2021年1月1日~2021年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(％表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2021年12月期第3四半期	3,478	—	364	—	380	—	230	—
2020年12月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 2021年12月期第3四半期 230百万円(—％) 2020年12月期第3四半期 一百万円(—％)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年12月期第3四半期	57.64	53.17
2020年12月期第3四半期	—	—

2021年12月期第2四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、2020年12月期第3四半期の数値及び対前年同四半期増減率については記載していません。

当社は、2021年7月1日付けで普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。当連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2021年12月期第3四半期	3,004	2,035	67.7
2020年12月期	—	—	—

(参考) 自己資本 2021年12月期第3四半期 2,036百万円 2020年12月期 一百万円

2021年12月期第2四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、2020年12月期の数値については記載していません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2021年12月期	—	0.00	—	—	—
2021年12月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

2021年12月期期末配当金の内訳 記念配当 5円00銭

配当予想の修正については、本日(2021年11月11日)公表いたしました「配当予想の修正(創立30周年記念配当)」に関するお知らせをご覧ください。

3. 2021年12月期の連結業績予想（2021年1月1日～2021年12月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,874	—	392	—	411	—	255	—	63.75

（注）直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

2021年12月期第2四半期から連結財務諸表を作成しているため、対前期増減率については記載しておりません。

当社は、2021年7月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。そのため、2021年12月期連結業績予想における1株当たり当期純利益につきましては、当該株式分割の影響を考慮した金額を記載しております。

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有

（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

新規 1社（社名）株式会社ヒューマンソフト、除外 1社（社名）

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2021年12月期3Q	4,100,000株	2020年12月期	4,100,000株
2021年12月期3Q	100,000株	2020年12月期	100,000株
2021年12月期3Q	4,100,000株	2020年12月期3Q	3,844,570株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

当社は、2021年7月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して発行済株式数（普通株式）を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、長引く新型コロナウイルス感染症拡大の防止策を講じるとともに、ワクチン接種が進み、経済活動の正常化が見込まれているものの、足元では、半導体不足等によるサプライチェーンを通じた影響が企業活動に波及する等、依然として先行きが不透明な状況が続いております。こうした経済環境のもと、日銀短観2021年9月調査によると、当社の売上の過半を占める業種である金融機関を含む全産業のソフトウェア投資額は、2021年度計画が前年度比15.1%となっており、IT投資は持ち直され、増加していくことが期待されます。

このような当社を取り巻く環境の中、① 進化するデジタル社会において、成長性の高い技術・サービスを提供する、② より良い製品サービスを提供し、社会の中で存在価値の高い企業となる、③ 環境、社会、ガバナンス(ESG)を重視し、持続的成長を目指す、を中期経営方針として掲げ、顧客からの信頼を獲得し持続的にサービスを提供することができるよう、様々な要望に対応したサービス提供を行うとともに、デジタルトランスフォーメーション等のデジタル社会の変化をビジネスのチャンスとするために、多数の先端技術の吸収を積極的に行うとともに、顧客及びビジネスパートナー向け営業体制の見直し、業容拡大に向けた人材の積極採用等の施策を行ってまいりました。また、株式会社ヒューマンソフトを連結子会社化し、当社グループの事業領域の多角化を図りました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、3,478,034千円、営業利益は364,375千円、経常利益は380,360千円、親会社株主に帰属する四半期純利益は230,547千円となりました。

なお、当社は、システムインテグレーション事業の割合が高く、開示情報としての重要性が乏しいと考えられることから、セグメント情報の記載を省略しております。

事業のサービス別売上高については、以下の通りです。

a システムインテグレーション事業

当第3四半期連結累計期間においては、依然としてIT技術者不足の状況にあるため、コロナ禍における採用環境の変化に対応した採用活動を積極的に取り組むと同時に、ビジネスパートナーとの協力関係の強化及び新規のビジネスパートナーの開拓を行うなど、さらなる受注拡大に向けた体制構築を進めてまいりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は3,284,090千円となりました。

b クラウドサービス事業

当第3四半期連結累計期間においては、積極的な広告宣伝を行い、クラウドサービス事業の認知度を上げることにより新規契約を順調に獲得し、累計契約台数が着実に増加しております(2021年9月末時点の累計契約台数7,975台)。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は193,944千円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、3,004,749千円となりました。その主な内訳は、現金及び預金1,539,619千円、売掛金802,233千円、のれん283,966千円であります。

(負債)

負債合計は、969,649千円となりました。その主な内訳は、買掛金156,183千円、1年内返済予定の長期借入金を含む長期借入金129,165千円、退職給付に係る負債206,476千円であります。

(純資産)

純資産合計2,035,100千円となりました。その主な内訳は、資本金74,610千円、資本剰余金60,966千円、利益剰余金1,911,719千円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年12月期の連結業績予想につきましては、2021年5月20日に公表いたしました内容から変更はございません。

なお、本資料は発表日現在において入手可能な情報に基づいた見通しであり、実際の金額は、今後の様々な要因によって変動する場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

当第3四半期連結会計期間 (2021年9月30日)	
資産の部	
流動資産	
現金及び預金	1,539,619
売掛金	802,233
商品	20,924
貯蔵品	17,343
その他	50,633
貸倒引当金	△763
流動資産合計	2,429,992
固定資産	
有形固定資産	38,010
無形固定資産	
のれん	283,966
その他	7,609
無形固定資産合計	291,575
投資その他の資産	
その他	246,308
貸倒引当金	△1,136
投資その他の資産合計	245,171
固定資産合計	574,757
資産合計	3,004,749
負債の部	
流動負債	
買掛金	156,183
1年内返済予定の長期借入金	50,004
未払法人税等	110,345
賞与引当金	99,337
その他	267,830
流動負債合計	683,701
固定負債	
長期借入金	79,161
退職給付に係る負債	206,476
その他	311
固定負債合計	285,948
負債合計	969,649
純資産の部	
株主資本	
資本金	74,610
資本剰余金	60,966
利益剰余金	1,911,719
自己株式	△10,375
株主資本合計	2,036,920
その他の包括利益累計額	
退職給付に係る調整累計額	△1,819
その他の包括利益累計額合計	△1,819
純資産合計	2,035,100
負債純資産合計	3,004,749

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年9月30日)
売上高	3,478,034
売上原価	2,524,635
売上総利益	953,398
販売費及び一般管理費	589,023
営業利益	364,375
営業外収益	
受取利息	17
助成金収入	14,730
その他	2,507
営業外収益合計	17,255
営業外費用	
支払利息	542
社債償還損	603
その他	124
営業外費用合計	1,270
経常利益	380,360
特別損失	
関係会社清算損	1,080
特別損失合計	1,080
税金等調整前四半期純利益	379,280
法人税、住民税及び事業税	177,236
法人税等調整額	△28,503
法人税等合計	148,732
四半期純利益	230,547
親会社株主に帰属する四半期純利益	230,547

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年9月30日)
四半期純利益	230,547
その他の包括利益	
退職給付に係る調整額	250
その他の包括利益合計	250
四半期包括利益	230,797
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	230,797

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。